

No 1393, BASTOS, 1 de JANEIRO de 1974, O PROGRESSISTA, REG. Nº 45878 SÃO PAULO, A.P.

ハストス週報

断産 1



皆さん、新年お目出度うございます。旧年中はいろいろ御世話になりました。尚本年もよろしく御引立の程お願い申し上げます。……と、四角張って新年の御慶を披露して……それから年頭の所感となるわけだが、

○旧年は下半期にいろいろな事件が繰出し、それが一つも整理されぬまま、今年へ持ち越しとなつてしまつたので、ことしは年し始めから相当ごたごたするだろう。

石油不足は各国の悩み

まず世界的な大問題は、何といつても「石油」だろう。O.A.P.E.C. (アラブ石油連盟) が世界の石油資源だとすれば、石油を売つてもうおうとする限り、アラブ寄りにならないといけぬ。腹の底は沸えたぎつていても、顔は笑いを浮かべて、手もみをしながら

「ごきげん、いかがですか」などと、お世辞の一つも言わねばならぬ。ユダマとの国交廃棄はできぬと嘆息を切つたホ国オランダが、二カ月もたたぬうち音をあげてしまふ。昨年十二月五日O.A.P.E.C.に降参した。イスラエルに占領地を放棄するように申し入れ、アラブ寄りになることを宣言した。では、石油を融通しようとなつたわけである。

オランダ一国ぐらいイスラエルに味方した。格別戦力に影響するわけでもあるまいが、世界中がこぞってアラブ側に立つて、イスラエルの反省をうながすことになれば、イスラエルとしても多分、かくくつてゐるわけにもいくまい。石油戦術は原爆より効き目があつたわけである。ここに一つわがわががある。それは、イスラエルには油井はない筈だ。どこで石油を入手するのか不明だが、石油がなければ、此の後工シフトやシリヤ相手に戦争をつづけることが出来ぬではないか。

アメリカが戦機や戦車をイスラエルに供給しても、ガゾリンがなくてはどうにもなるまい。

第1393号
昭和四十九年
1月1日
火曜日発行
Director
Keiti Mori
Redator
Shion Oda
Eua. Pres.
Vargas, 188
C. Post. 112
Fone. 40
BASTOS
C. P.
Anual
Cr. 35.00
Adianta

CASA TARODA

あけまして
お目出度う
ございます

本年もどうぞよろしく

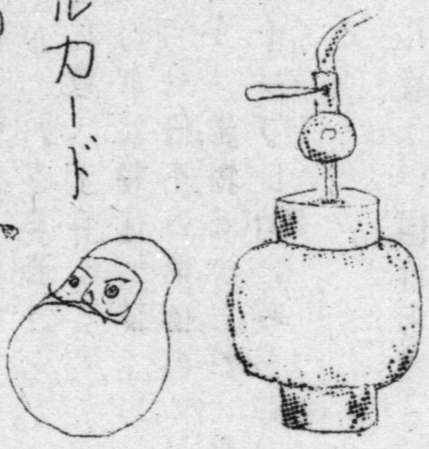
元旦



スベルメルカード

太郎田屋

嘉右衛門



○石油問題は自動車産業にも影響があるだろう。いくら自動車生産を誘つても、ガゾリン入手が困難になれば、クルマの売れ行きに支障を来たすことに関係がある。

石油はないわけではない。各国ともにこれまでものように無統制に使い放しが出来なくなるまでのことだが、アラブ石油にも限度があることは、一応考慮する必要はある。

○アメリカでは自動車通勤するよりも、バスや電車の方が時間的に早くて安上りなので、転向する向きが多いと伝えている。石油不足からきた智恵である。その電車も車掌が居るだけで、駅にもどこにも係りのいない無人電車というから、すさまじい。

中東問題

アラブイスラエルの紛争は停戦状態にはなつてゐるが、戦線が両軍が睨み合ひ、後退の見通しがまだつかぬようだ。どの線まで後退するか、昨年十月一日現在の線までと言つてゐるが、それでは、エジプトはシナイ半島を放棄することになり、シリヤはゴラン高原をあきらめら

ことになり。もつとも一時そうしておいて、次に国連決定の六七年戦争前の線に戻すというのかも知れないが、アメリカが圧力をかけなければ、イスラエルは動かないだろう。世界の総スカンを食うように、アメリカが武器を給与せぬといえれば、それで万事片づく。

イスラエルが溫和しく首をたてに振れば、その代りイスラエルの安全を保証してやらねばならぬ。アラブ諸国の中に介在して、後世まで繁栄をつづけるためには、隣国と手を握り合う政策をとらねばだめだ。ひとり狼では長づきすまい。

○もともとイスラエル民族は神の選民！という優越感がある。二千年以上も大昔、周囲の国々が多神教偶像崇拜であつた頃、工ホバという一神に帰依して、図抜けて清純な信仰をもち、常に我神と共に在りとしていた。

バビロニア帝国によって滅亡の悲運をなめ、民族としては諸国に四散したが、血の純潔を守つて二千余年流浪の末、やつと故郷に返り咲くことが出来た悲運な民族である。選民でも何でもありやしない。彼らが、そう信じているだけである。彼らが信奉するユダヤ教なるものは、キリスト教の根源をなすものであり乍ら、微妙なくらいが、又は矛盾が介在しているようである。そうした高慢的な堅持(妙な言葉だが)民族と国家を支えているところには、並みの国とはいささか異つたユダヤ教をもつていて、と思われ。

○中東は、どんな経路を辿つて解決するか、もつれるか、かかつて今日の重要な動きとなるだろう。

日本列島と地震

正月早々縁起でもないと思つたが、地震国日本は、ここ数年大地震の予告におびえて、いるようである。昨年だけでも北海道東寄沖合、千葉県沖と、太平洋中に異変があり、伊豆諸島には海中噴火があつて岩礁があらわれている。

去年の暮れには、静岡県沖合に異変があり、ひよとすると大地震の予告かも知れないような新聞記事があつた。いざいざにしてみても今年あたりは日本寄り太平洋海底で地殻の動揺があると学者は警告しているが、地方都市や村落では大した被害もあままいが、東京、大阪など、過密地帯では、恐ろしい大惨事が起るものと思つて、覚悟せねばならぬだろう。惨事というものは、起つてみる迄はひとごとだから、東京のような震災に経験のある都市にても平気で住んで居られるのは、現在只今痛くないからである。

○日本列島には、地震の恐怖の外、列島

FUNILARIA SHIMIZU

謹賀新年

本年も何年御引玉
お願ひいたします
一九七四年 一月一日



自転車修理 部品等
風呂のガス釜

清水鋳力店

ツツキデカシマス街 ロードビヤリカ側

改造論のあはりをもろにかぶつてインフレーションが起り、今年もまだ相当に取きつづくであろう。工業公者を緩和するため、工業を全国に分散させようという田中首相の案だが、彼がこれを発表すると、全国の地価が異情な迫りに上昇して来た。ガソリンの値上げが諸物価の値上りの前兆となる如く、今や日本の地価の上昇とどまる処を知らず、諸物価がこれに追随して、世界一のインフレ国にのしよるうとして、いる相だ。

世界中でブラジル程よい国はあるまい。政治的に安定しているし、諸物価の値上りは、ある程度やむを得ないとしても、外資導入で、商工業は殷盛だし、農業は活気づいて、いるし、誠に申分ない。

○、聖市内は強盗が闊歩して、これが珠に傷だ。

寅(トラ)す二支の三番目、方角では東北の間、時時でいうと、午前四時。トラというおもしろい言葉、どら声、どらねこ、どらむすこ、虎の子、どらわれる。トラック、トラホーム、ドラマ、トランプアまだいくつでもある。

ほつば、屠蘇が廻つて来ましたなあ。

糸 音

3

ブラタク製糸株式会社

FIACÃO DE SEDA BRATAC S.A

謹賀新年 1974年1月1日



サンパウロ事務所 Escritorio em São Paulo

Rua Roberto Simonsen, 62 - 9º and. conj. 91

Telefones 33-4569 e 32-8559, SÃO PAULO

ガリア荷受所 Depósito de Galia

Av. Paulista, 630 - Fone-115-

GALIA (SP)

バストス工場 Fabrica de Bastos

Rua General Osório, 700 - C. Postal; 39

Telefones 090 e 210 - BASTOS (S.P.)

グアラサイ荷受所 Depósito de Guaraçai

Rua Raul Furgum; 76 GUARAÇAI (SP)

バラコン荷受所 Depósito de Barracão

Rodovia BAURÚ - MARILIA

ロンドリーナ荷受所 Depósito de Londrina

Rua Rio Grande do Norte, 933

Telefone 2-3117 LONDRINA (PR)

ドアルテナ荷受所 Deposito de Doartina

Rua Fernão Dias 1/2 - Fone 34,

DUARTINA

晩年を侍せにするために

真木 眞水

近年コロニアでも老人問題が喧傳されるようになり、昨年は日本から厚生省の森幹郎技官が来伯され、老人福祉に関する調査をして行かれた。昨年は又、日本老社福祉協会常務理事、木村健一先生が来伯され、調査研究を兼ね各地を巡講されてコロニア老人達を感激させたが、なげ此の様に老人問題が深刻になったか、その第一の原因は、文化が進んで生活が向上したこと。医学の進歩で昔は不治と云われた病氣も不治でなくなり、人間の平均寿命がぐんと伸び、我々の青年時代人生僅か五十年といわれたのが、現在は二十年も伸びて七十歳を越したのである。日本の厚生省の調査によると、三年前は百歳以上の老人は三百人だったのが、昨年四十八年九月の調査では、なんと、五百十九人となつてゐるのである。百歳以上の老人は、何十万人に一人位しかないのである。その百歳以上の老人が人口一億の日本で年間で百人近く殖えるのであるから、七十、八十の老人の増加はおして知るべしである。

コロニアの敬老会でも、六十歳からが六十五歳となり、七十歳となり、七十五歳と変更されて行くのは寿命が伸びる故である。

もう一つは、親子断絶という恐ろしい言葉が生まれたり、女性結婚の條件に、家付きカリーつき婆抜きというのがある。誠に痛憤に堪えない。このように寿命が伸びて老人が激増するのと、思想や環境の変化で孤独の老人や、生活に困る老人が急激に増加するのは当然のことである。

戦前の日本は家長が居て家族が同居する家族制度であったのが、今は夫婦単位となり、結婚したら別居するので、コロニアでも、青年達は都会に転居し、親とは別居する者が多いようである。このように世の中は変つてゐるのであるから、ヘラホスデ、バスコンセロスの横溝一男翁の「老人は何時代の時代にも居たし、また居るから、今更にいよいよ言う問題ではなさそうだし」との説は当たらないと思ふ。

時の流れに巧みに棹さすのが処世の上々の術だと思われ、処世の術は棺に入るまで勉強すべきである。

総ての人間の最後の願ひは、老後を侍せに暮らすことと、安らかに大往生をする事である第一条件は、健康で、家族

謹賀新年

今年も倍旧の御引立を
申願い申し上げます
一九七四年 元旦

CONFITARIA TAKAHASHI

Fone; 014,

- 生菓子
- 栗饅頭
- 餅菓子
- 和菓子一切

バスロス市ルアテマルテバロス一五五

高橋製菓所

電話 十四番



迷惑をかけず、出来るだけ家事の手をわすれず、有吉佐和子女史の小説「恍惚の人」の主人公立花茂造の様に、自分の息子が娘さえ忘れてしまふ、実の孫にさえ、視察されるような病人になつたのでは、最早生きてゐる甲斐はないのであるから、早くお参りさせて貰うのがよいのである。人間の幸不幸の大半は、その人の心掛けるもの、幸福は神仏から与えられ、心掛けと努力に依つて掴みとるのである。故に、私は健康保持のためにカルピもすんどテクシーである。

その他花を作つたり、適当な運動を怠らないお蔭で、壮年期は病身だったのが、八十一歳の現行の方が健康である。頭も使われない予防の為に毎日二、三時私は呆けないうつ防の為に毎日二、三時私に呆けないうつ防の為に毎日二、三時

夫婦揃って長寿は健康と並ぶ重要な条件である。多くの老人が孤独に悩むのは、

半身を失った淋しさからである。この夫婦揃っての條件では、残念乍ら私は失格である。先妻には五十二年前に先立たれ、ブラシルへ同伴した後妻にも十八年前逝かれ、その後独身である。

バストスにも八十歳以上の夫婦揃って健在者はどう沢山は居ないと思うが、お隣りの上田さん夫妻や、町の水口さん御夫妻など健在で羨ましい限りである。

また大野さんご夫妻の様に、九十歳近くまで夫婦揃って長生きをし、一年もたない間に奥さんの後を追うが如く、天寿を完うして大往生をされましたが、これこそ人生最高の俸せであつたと思われろ。

私は二人の妻に早く先き立たれたけれども、孤独の淋しさを感ぜなかつた。何故なら、私は八人の子供があり、孫が四十七人居り、曾孫が四十人いるので、これら多勢の孫の家を訪問して愉しめろし、家庭でも幼い曾孫三人と学校へ通つて、いる孫と合わすと十五人の大家族で、いと賑やかな毎日であるから、淋しさなど感ぜぬ暇はないのである。

私の家系は多産系と見え、五人乃至十人という子福者ばかりで、ここ十年もしたら、曾孫の数は百人にも達するであろう。この様に、子孫の多いことは、自分が心強くて、幸福なばかりでなく、ブラジルは、日本のように狭い領土に一億もの人間が弄き合つてゐるのとは違つて、広大な未開地を持ってあましており、何程でも人間は欲しいのであるから、血族が殖えることは、移民として善国へ大きな貢献ではないかと考えられるのである。

老後の俸せを把握するにも心掛け、努力、運命の三つ揃わないと、土上の部類には入れないので、その部類は割合に少ない様である。私も、夫婦揃つての條件が零なので、中の部にしか入れないのである。

木村先生の講演の中に引例された人が三四人あり、その中の諸田つや子さんという百四歳の長寿を全うされたお婆さんがあるが、この婆さんは、なかなかの智者であり、陽気で、ほかほかで、上手に孤独感を吹き飛ばしてゐるので、一寸引用さじてももううことにする。

つや子さんは初婚に失敗して、四十二歳まで下宿屋を経営してゐたのであるが、その頃下宿してゐた二十六才の諸田四郎さんからプロポーズされ、結婚にゴールインして五十年間夫婦生活をしたのであるが、十年前四郎さんの方が先きに逝かれ、その後独身であつたが、何時の頃からか川柳仲間の八十六歳になる恋人が出来たというから物凄くお婆さんである。その、またつや子さんの川柳が色っぽ

いのはガリであるから、二三句記すことにしよう。

「老楽の恋はこたつて熱くなり
「百歳になつて親しき友が出来
「待つ人があれば風にもだまされる
「初恋もあつた顔かとしわを撫で
「かほちゃでも色づきや人が抱いてくれ
「ひざ枕うさせて二号がよくねだり

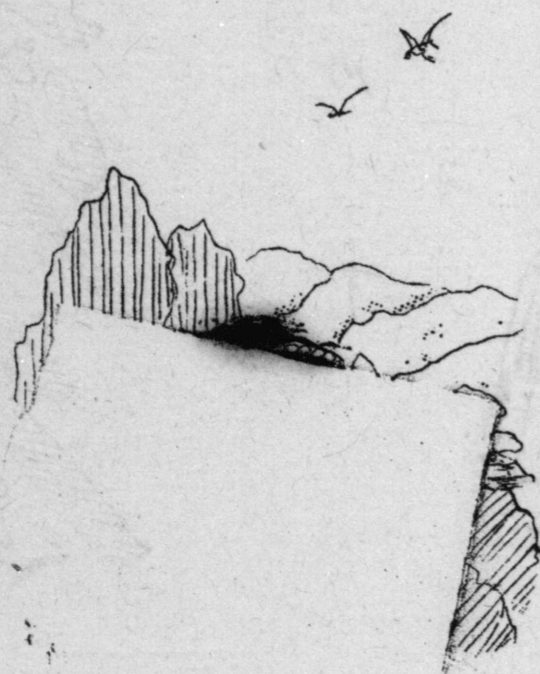
どれも若い者顔まけの色気たつぷりの覺句ばかりである。またその恋人の老人が家族と共に移転されてからは恋文の交換するようになり、次のような都々逸がある。

恋人からのもの 毛口夕手紙は
ツマよい返事、胸の動悸が
止まらない
つや子さんの返事の都々逸、
なまけこもつたお手紙見れば
飛んで行きたい主のそば
百歳を過ぎたお婆ちゃんに恋文を読んで、主のそばへ飛んで行きたい情熱を燃やすのであるから驚き入る。而しこの様に朗うかであるが、百四才もの長寿されたのかも知れないが、昔から、雀百まで踊りは忘れぬ、という俗言はあるが、女は受身だから、大岡越前の母が、越前守に答えた灰の字の様に、生ある限り可能かも

謹賀新年

本年も倍旧のあつちと
希い上げます

一九七四年 元旦



BAZAR POMBO

バザール・ポンボ

守越高店

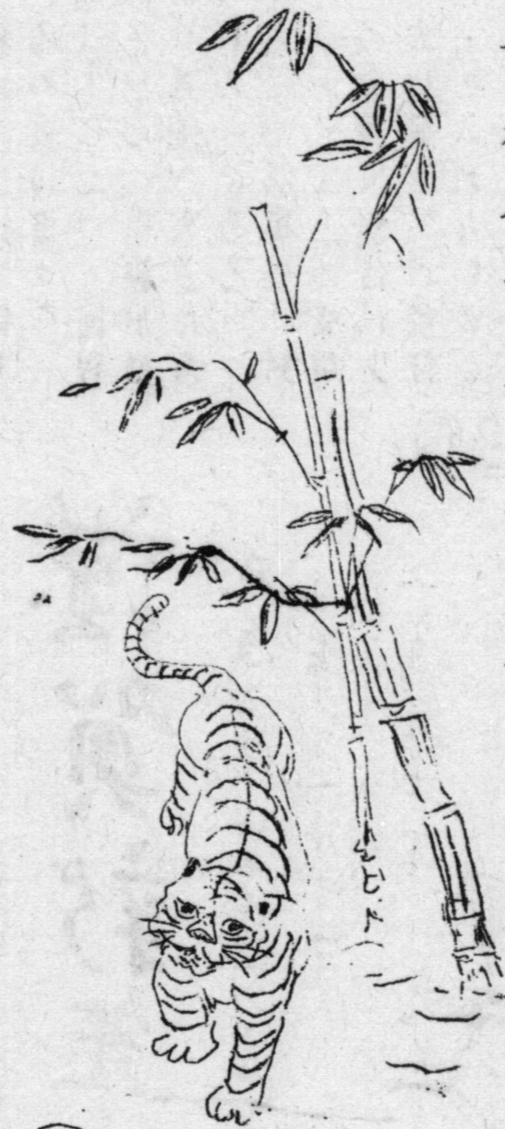
邦函 一〇五番
電話 一六七番

BAR CONFEITARIA RODOVIARIA
SATOSHI NAGAHASHI

謹啓

今年もお変わりす倍回の
御引こを懇願致します

一九七四年 一月一日



オリーブスエキスブレンドデブランチタ
ジョルナルフオリエデサンパル

代理店

エスタッソンロードヒアリオデバストス

長橋 智

電話 二十一 番

FARMACIA UNIÃO

ファルマンマ ウニオン

謹賀新年

各位万堂のあま多幸を

祈り上げます

一九七四年 一月一日



救世寿勢権

電話三九番

かも知れないが、男性は女性同様にはいじらない。普通の体質なら、八十歳にもなれば男根は小用の廻の役目だけとなり、天性の役目は不可能となるものである。八十六歳の諸田つや子さんのボーイフレンドは、例外の猛者と思われれるが、もう八木村先生のお話しに引例された九州の八牟田市に住んでいられる志村治三郎さんは、つや子さんのボーイフレンド以上の超猛者である。

志村さんは八十六歳で、奥さんは三十歳だから、五十歳の年齢のひりきがあり、それにも拘らず、夫婦仲は至って睦まじく、二人の間には三歳の娘が在り、志村さんはもう一人男の子が欲しいのだといわれたそうである。

尚その女の子が十九歳にもなれば婚養子を貰うことに、近所の六歳になる男の子を双方の親同志で決めており、孫が出来たら、男なら夏夫、女なら夏子とつけるように、名前まで考えているとの事である。八十六歳を二十年も先の孫の事を考えたりの、これからまだ子供を作りたいといつものだから、豪勢な体力である。

この志村翁や、つや子婆さんの如きは特別な体質であろうが、普通の体質者でも、生活上の心掛けと、精神力で或る程度は環境を更えることも、若やく事も出来るのである。人間誰でも幸福で永生き

かもしたいのは同様であるが、それを実現させるには、やはり志村翁のような遠大な希望と精神を持ち、つや子婆さんの如く朗かき、一日一日を大切に生る事である。バスト又老人倶楽部の皆様方よ、お互に体を大切に、健康で幸福な晩年を祈りましょう。

以上私の述べた、自分で出来る事は、自分で努力して把握される事であるが、団体となると個人ではどうにもなれない。生人々の誠意と愛と熱と努力がなくては、実現しないのである。折角の老人倶楽部であり、若い層の役員も出来たことだから、単なる敬老会や、犠牲者の供養に止まらず、真の老人達の喜べる娯楽の会や興味ある会合を月一回ぐらい催すよう、もつと具体的な名称にふさわしい、本当に老人が親睦を成せる会に発展させたいものと思ふのである。

移民の故郷バストスには南米一とも云われる野球場がある。奥地には希なゴルフ場があり、誠に結構な事であるが、老人には不向きな施設である。

若い先き短かい老人達へ深甚なる愛情ある有志諸賢よ、一大奮発お御願いして、一九七四年の年頭のご挨拶に代えたい。

完

Coop. Agr. Sul-Brasil Central de Bastos LTDA

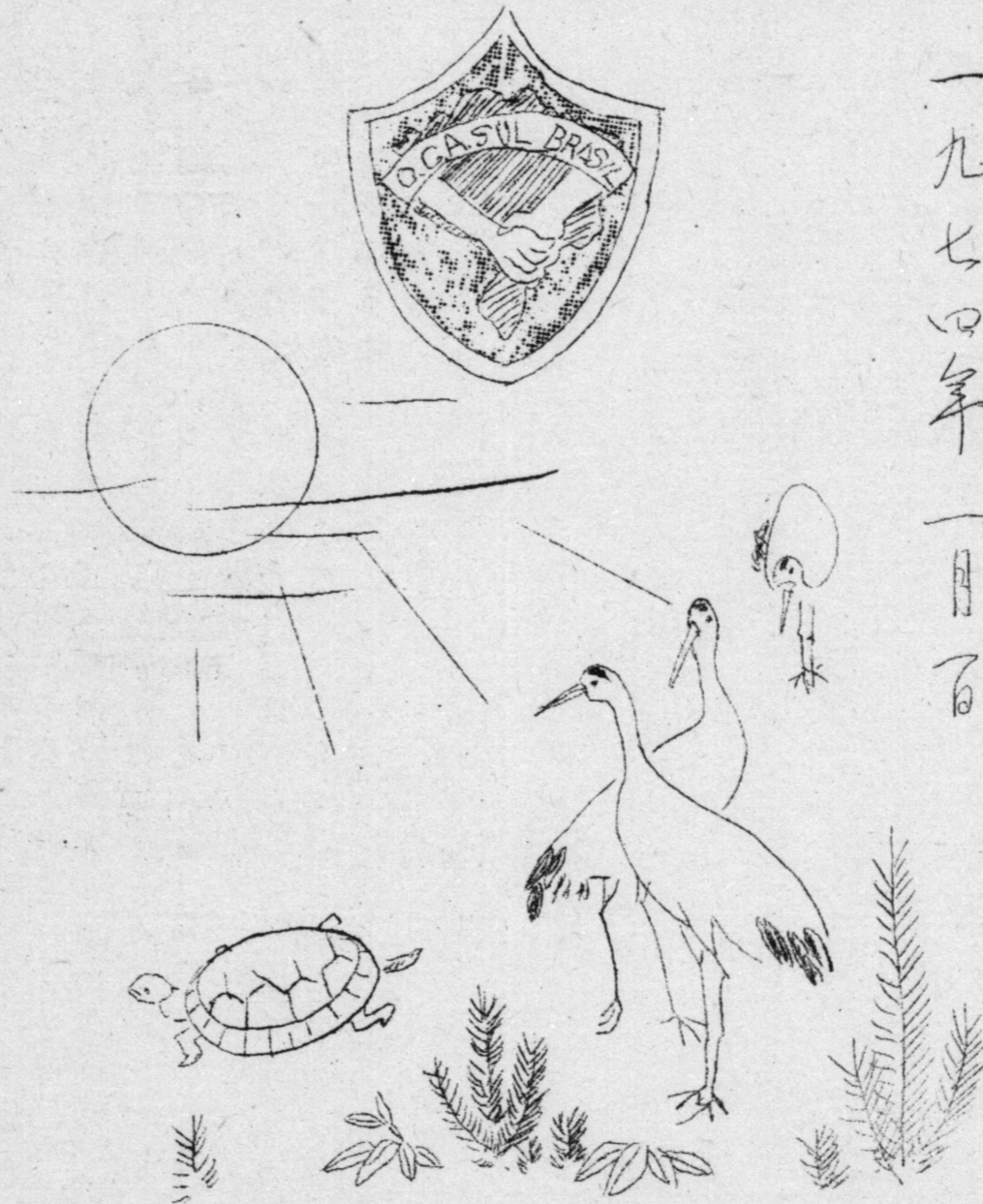
謹賀新年

皆様の御繁栄とご健康を祈念して

輝かしい年頭のگون移りに

代えさせていただきます

一九七四年一月日



バ
ス
ト
ス
南
伯

農
業
協
同
組
合

プレジデンテ ヴァルガス街角

電話七〇七番
郵便九十一番

松茸

カラエランジマ

福龍

温

予ねて私は、訪日する考えは持っていたが、幸運にも万が一訪日出来る日があれば、十月頃の秋の季節をと思つて来た。何故なら、秋は松茸の季節であるから。尤も春先にも、田植頃にも少量ではあるが季節外れの松茸が生える事は珍重がられる。私の故郷辺では「さまつ」といふ。それが先年思ひがけず訪日を実現した。母の米寿のお祝いであつた為めに、こさやかか加夢もかたえられなかつた。それに同時期に訪日した親戚の老人は、同じ春に訪日したのに運強くも「さまつ」にお目に掛り、充分舌を愉しませて貰つた。たと話して居られたので、なおのこと残念であつた。

私の実家にも松山があり、茸も生えるので、訊いてみた。所謂、三ちやん農の組合の山を歩く人が、ついでに家の山も歩いてくれるとのことであつた。勿論茸はその人の所得である。悪く言えば猫婆である。

その外に産業組合にも大きな茸山があり、毎年一人果。〇円の入山料を徴して、都会かぐの団体茸狩りを募集してはいたが、私の家でもそれを真似た訳ではないが、都会の親類の人を招待して、肉や葱、其の他の材料を山まで運んで、すき焼を楽しんで来たが、都会の人は、山歩き不馴のため、どんなに注意しても、山を荒らして仕様がなないので、何時とはなしにその行幸も沙汰止みになつてしまつた。

茸は菌子から生えるので、それには適当な温度と湿度が必要である。それで落葉を掻き散らすと、土地が乾燥して菌子が死滅するので、段々生えなくなる。折角の茸山を持つていても、茸が生えなくなつては元も子もないので、少々の入山料では勘定に合わず、取り止めになつた様である。

他の茸は知らないが、松茸は、最初は小さい群落になつて生えるが、よく見ると小さな輪になつており、此の輪は年々大きくなつて、何年か経つと、もう輪の形は見当らず、尾根から谷を渡り、延々と一本の細のようになつて生える。それも何年かの内に消えて判らなくなり、そのうち又新しい群落が出来る。

毎日引き出した茸は差別して大阪、神戸方面に出荷されていたが、かなりの屑茸や傷んだものが出るのである。

私も渡伯前二、三年家で百姓の見習いをしていたので、親父から手解きを受けて組合の山にも入山して来た。毎日組合員が順番で入山するのであるが、中には仕率の関係で入山出来ぬ人がかなりある。その人の分を貰つて替りに入山するのである。日は色々あつたが、五十銭のところを見付て秘密にして置いて、自分の入山する日に採つてくるので、何時も人の何倍かの採取で、日当も良かった。

どうして新しい場所を見付けるかは、六ヶ敷い点であるが、茸の生える道筋の松は、松葉の色が違ふという事である。私も親父に教えられて、入山した日は、私もお父さんに登つてあちこち見渡して見つけたものであつた。一向その道いして見当らなかつた。暗い雲に、足にまかせて歩いていくだけであつた。

学生時代、或る日曜日、下宿の子供と一緒に貸し自動車借りて実家まで、クニックしたことがあつた。農繁期で家には誰れ一人居らず、かなりの道を走つたので、腹は比山でベコベコであつた。

PEIXEIRO HONDA

謹賀新年

旧年中はひと方ならぬ御勤禱にあずかり誠にありがとう御座居ました
尚本年も倍旧の御引立を希い上げます
一九七四年 一月一日



本多鮮魚店

メルカード内

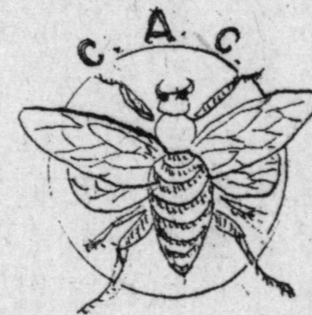
電話 二六四番

COOP. AGR. DE COTIA COOP. CENTRAL

謹賀新年 1974年1月1日

バストスコチア産業組合

組合員 一同
従業員 一同



バストス事務所

Rua Presidente Vargas Nº 245
Fone; 193 - 258 - 1078

飼料工場

Rua 10 de Novembro Nº 172
Fone; 045

スーペルメルカード

Rua Presidente Vargas Nº 245
Fone; 1808

孵化種鶏所

Estrada de IACRI BASTOS
Fone; 142

アバテドール

Rua 10 de Novembro nºn,
Fone; 173
" 128

集荷倉庫

Avenida 18 de Junho Nº 74
Fone; -172
" 347

何か食べるものは戸棚の中を探したが、何一つなかった。みだり仕事場へ持って行、て了まっていたのである。そこでご飯でも炊かねばと、考えてみた。主厨に松茸が少し山盛りになって置いてあった。これこれ一人合点して、燗から葱や何かと取って来て、松茸の煮込みご飯を作った。食べた。余程旨まかつた。とみえて、その子が町に帰ってから親達に話したので、小母さんや女中達が、一度炊いて食べさせてくれと、しきりに頼み込まれたが、私は遂に頭を縦に振らず、いい加減に言を濁していた。

私の家は女手が無かった。男の子でも皆台所仕事など、小さい時からやらせられていたので、簡単な煮込みご飯などお手のものではあったが、空腹にまじいものなしで、十何杯も自動車で走って、お腹が空いていたのでより一層おいしく感じたに違いない。と、思ってしまった。

組合でも屑屑や傷んだ茸は雑蒔紙を敷入して、製籠して販売している。私の家でも、その紙紙を使用させて貰って、毎年百個以上の雑蒔を作って保存していた。

これは造物用にもなるし、時季外れの料理に特に珍重されていた。形は悪くても、山がう取り出したのを、その日のうちに料理製籠するので、都会で売っているものとは段違いに香気がよく、何処へ行っても、大層喜ばれたものである。

このように松茸はすまいもので、まためでたいものと思つて、何故なら、目出たいしるしの「松竹梅」の最初に位にする。松に生える茸であるからである。

訪日旅行中にも至らぬで、この次は是非秋に来なさい。秋の方が春よりもはるかに綺麗であるからと言われた。

春はただ桜があるだけではなからうか、何時くらい保つか知らぬが、桜の花が散った後には、何も残らないと思われる。それなのに何故多くの人は、春に訪日するのであろうか。それは桜に魅力があるからであらうか。秋にはわからぬ。

謹賀新年

一九七四年一月元日

グアルーリヨス市

早川忠威

Chuzo Hayakawa
Rua Cabo Antonio de Pereira 417
Jangulidade Guarulhos S. Paulo

謹賀新年

遙かにバストスの皆様
の御繁栄を

お祈り申し上げます

一九七四年一月一日



CEP 01549

Rua Getepar Fernandes 715
MONUMENTO SÃO PAULO

植木園



皆様の御繁栄と健康をお祈り致します
一九七四年一月一日
イスピア

森田農場

電話 〇二二番

謹賀新年

旧年中の御愛顧を謝し
尚本年の御引立を懇願致
します

一九七四年一月一日

アレシテンテバカス街五二〇番地
カマラの上隣り

渡辺洗濯店

電話 二二一八番

Tinturaria Watanabe

Rua P. Pres. Vargas Nº 520
Fone; 318 ao lado da Camara Bastos
Deseja um Feliz

Ano Novo



Banco Bandeirantes do Comercio S/A

DIRETORIA E ADMINISTRAÇÃO GERAL Rua Líbero Badaró, 425

GRUPO FINANCEIRO BANDEIRANTES

BANCO BANDEIRANTES DE

INVESTIMENTOS S.A.

(バンデイランテス貯蓄銀行)

Filial BASTOS

株式会社

バン
ド
コ
メル
シ
オ

バン
ド
イン
ス
チ
メント

バス
ト
ス
支
店

ル
ア
ブ
レ
シ
デ
ン
テ

ウ
ア
ル
ガ
ス
街

三
二
一
番

一九七四年 元旦

各
位
の
御
慶
賀
を
心
より
承
知
し
ま
す

謹
賀
新
年

CASA MAEYAMA

Rua President Vargas, 281 Fone 23 5P

内外雜貨卸小売

前山商店

電話 二十三番

ラソンソツトラ代理店、ワルガス街二八二番地

一九七四年

ニル旦

謹賀新年

新年の愛顧を蒙り

各位の福を祈り

上げます

渡りつづ物語

龍年 仙人

新聞雑誌の新年号はどれが恒例で、筆が知名人の巻頭言を載せる習慣になつてゐる。年に一回ぐつし御行儀よく校長先王の訓戒を賜ひなさいといふ意味で、読者はそれを平直に受取るべきだろ

私の寄稿する雑文なら、腹ころんで読ん

か之無材配布のボレチンを送つて税金を

たつたので、後任者の見付ぬる迄、私が寄

だ、発想はよかつたか、資本の協力があ

一九二二年九月七日は、ブラジル独立百年祭に当りたので、日英米三カ国の軍艦がブラジル政府の招待を受けて祭典に参加する為、リ本に投錨し、儀礼を果

その後、日本と英国の軍艦はサントスに廻航して来た。日本の軍艦は出雲、浅間、艦手の一万トン級の戦艦三隻だったが、サントスの商船より背が低くかつた。千トンの商船に乘組公開を許したので、一般市民に乘組公開を許したので、

案内の下士官が又又トの上を指し、あ、あの器械はバオマ運河を通す為、外にありました」と説明したのは、

英国の軍艦は、レバルスとフアド、共三万トン以上の戦艦で、当時世界最強の軍艦とされていた。大き過ぎる港内に入れず、サンピセントの沖合に漂泊して

遠圍地で日本の水兵さんか剣道試合を見せ、英国側は二十人位の水兵が綱引をいどんで、その倍位の人数的お客さんが引張られた。

ルスの駄や、マンビン、ストリアに英国が旗を立てていた時代であつたから、アングロサクソンは威張つたものだった。

一九二三年九月始めの或朝、新聞売子「テレモット(地震)ノ、シマボン

トウキョー「アカボ」を所売りにしている。在留同胞の大ショックだった。五十年前は母ラジオ、テレビは無く、至急報も四十八時間しかかっていた。災害のシネマは更に二カ月後に見た。

日本に本社のある貿易商は、藤崎商会と、日本貿易会社だけで、ともに主として磁器器を扱っていた。

個人高は瀬木商店と中矢商店の二軒で、遠藤書店は開店したばかりであった。海外興業会社は珈琲全盛時代で、耕土連の依頼で、移民業務で繁忙していた。同社の主君集団地区はコンテ街とラッパ区に限られて、ガルボン、ブエノノ街には小林美登利氏が聖州義塾を開設したばかりであった。

毎日曜日、アルモソ道上地蔵館の下でテニスをし、午後はネットやバットをかついで、ナイト会社やスタンの空地で野球に熱したが、完全打者理球スタイルは慶応ホーイの笹原氏だけだった。道で会う人々には便衣隊の行進みたりに見えたであろう。これがミカド、クラブ発足の背景であり、野球が今日の如く普及するとは思わなかった。

或る日、アフリマソンの公園で試合をして、ボールが二個竹藪に入り、わからなくなると、一個六十三ミルだと誰かが言った記憶がある。

若者の月給は百五十ミル位だった。から、ボールは地分高かった。野球用具は日本が、アメリカから取り寄せるので、無理もなかった。昔の方が現行より暮れやすかったと思ふ。観念の中には、物価と人情がださ合わせになつていゝ。人情はたしか昔の方が厚かった。たよだ、ウソトストソへ百レイスでバナナ一本、電車賃二百レイス、レストラントの食二ミル五百レイスだった。

早朝パンと牛乳は配達して、窓ぶちに置いてあつた。ぬすまれたりなかったし、野羊も頭位、棒で一列横隊につないで、乳をばって売って歩いた。のんびりした街風景であつた。

サンパウロ全市の人口六十万で、コンソラソンの墓地からビネイ口入道の電車通りには、家は一行もなく原野であつた。一九二四年七月、第二軍団の革命で三週間の市街戦を目撃したが、その後、都落ちしてエンシマダを引さ、今日に至っている。半世紀前の回顧は尽さぬが、進歩のスピードは早かった。彼々より十代、二十代上の先輩は移民史創世紀の神々であり、今はその殆どが地下に眠り生存者は既に恍惚の人だらう。 完

GRANJA HIYO LTDA



本名はあまらず引と希いよります

一九七四年一月九日



エコーライン

岩谷のペン

バストス代理人

シャツと福龍

ガイオーラデアラメ互場

アントニオシリアミン街二十五番地

白宅電話 三三六九番



本名もあまらず引と

本名もあまらず引と

一九七四年一月九日

伯光園座真一因

私共伯光園映画ショー創立五周年興行を一月三日午後三時及夜八時の二回公演させて頂くことになりました。新作舞踊、バレエ等盛沢山のゴゴラム並びに松竹時代劇超大作、高田浩吉主演、松竹俳優総出演による紀の国屋文左衛門を上映致します。五周年記念として、七十歳以上の方を無料の御招待申し上げます。お若い方も、また御親戚からお正月を利用して遊びに来られて居られる御老人も御遠慮なく受付に申出て下さい。招待席へ御案内申し上げます。以上

棚かすみ

聖市 加藤 梅辰

年往き、年来り、七回目の寅の年に生
存することになった。週報誌連載の恍惚
の人の立花霞造爺さんの年にたどりつ
た。あれ程に私もなつてきたとは考えら
れぬのは、つねほれであるうか。而し物
忘れの事ごとと、物を考えることが次第
に衰へてきたようである。
老衰も健忘という程ではないが、まだ
生存して居るが、右に、私が後に残る様
子とに比べれば、その名を忘れ、顔容も
も忘れらるうに、なれるかも知れぬ。
七十年前の許の知らない時からの馴染みの
妻を、ある、ツンツンなことがと思うが、懐
に、なつた。断言できぬ。
・体人間の路味贈というものは、どん
な仕掛けになつて居るのであろう。忘れ
ると去つても、古い昔のつづらぬ事は、
別番は、きり覚えて居るのに、昨日のこ
と、いや、ついで、二時間前に聞いた人の
名、んや、地名等一切忘却の彼方の存在
だ。

半年前に時に親しくして居た人の名前
をすくすく思い出さうと出来た。いのは、
なげだるう。試に、情けい、次第である。
昨年五月に聖市へ移転してきて、最近
どの荷物を整理して居たら、昔箱の間に
封まつていた一枚の紙を見出した。それ
は、依つて次の様な過去を思い出した。
此の前の戦争の折、当国にとつて我々
敵国人は、一切の集合を禁じられて居た
たのである。新年の祝賀式も出来なかつた。
ぞれで、仕方なく、私は棉作りの住宅の棚
子壁に、渡伯の時持つて来た日の丸の国
旗を掲げ、その下に今出てきた一枚の紙
を貼り付けて、家族七人が小さな声で君
が代を唱和して遙拝式をしたのであった。
その紙には

天君の御代も二十の花ざかり
いかなる敵も降るべし

昭和二十年元月

梅辰

としてある。この頃から一族四軒が
一団となり、隠し持っていたラジオを
床下に定を掘って、そこで日本のニエー
スを聞いて、戦争の形勢の変化に一喜一
憂するのであった。

その一、二前に入手してあったゾーナ
マットの薪山に入ったならば、又仕
事熱中して、戦争の事も忘れるであら
う。期待して、ムグンサをする事にな
ったが、戦争中とあって、速でも面倒な
事続きをして、万難を排して、どうやら

薪山に入る事が出来た。それ、
ン屋根の山小屋の中でも日本のニエーの
ラジオに依つて、次第に不利なる戦況
を映さ合うのであった。今思うと、誠
に、さげすみの毎日を過ごした。
敗戦後、その一年が過ぎてしまつた。
いや、まだその騒の最中であつた。不
心得の者のために、オズワルドブル
も片身の扶い思いをした。そんなこと
もを思い出して居ると、ふと少年時代
の事の記憶がよみ返つてきたりもする。
私の生れたのは美濃の国である。山
の村であるが、大柄が林調で、少し愛
つた者は生意気であるとか、行き過ぎ
あると云われる。私もその行き過ぎ
あるために、よく行き過ぎ小僧などと言
われたものであつた。
伯母さん、神経痛であつたため、伯父
は御嶽教を信仰して、寒中に水を浴びて
土産採や道くの神社にお詣りして居た。
私もその真似をして水を浴びて神前に
お払いを上げ、太鼓を叩いてお勤めをし
たので、自然と太鼓を叩く事が上手にな
つて居た。
十三歳位の時、大変な早魃の時があ
り、村中八十数戸が土産神社に一日参籠
して両乞のお祈りのため、般若心経百巻を

FARMACIA EASTOS

Rua Presidente Vargas, 296 Cx Post. 55 Fone 112

一陽来福



最新技術に依り、ホア口、肉
腫、老斑、疣、その他一切を
簡単に、痕跡も痛みもなく
れいに除去します。
御相談下さい。

後木薬局

電話 一一二

Cia Brasileira de Bastos Comercio e Industria

コンパニア ブラヴィスコ デ バストス 商工会社

本部 バストス、電話 160 e 358. 郵便 62

聖市販売所 - 電話 227-1547

ESCRITÓRIO; RUA 10 de NOVEMBRO, 147
Fone; 106-358-BASTOS C. Postal 62 Est. São Paulo

SEÇÃO ALIMENTÔ; Rua Takanobu Matsumoto s/n

SEÇÃO VENDA; Rua Carlos de Souza Nazer é. 617
Fone; 227-1547 SÃO PAULO

CEASA BOX Nº 21



一九七四年一月一日

此商標の御健康と御繁栄を祈り尚矣

後
大
心

唱えることになり、その音頭とリの大鼓を叩くことをいっかかり、一日中坐つてドンドコドンドコドンドコと般若心経に合せて叩いたのは良いが、あまり時間が長いので、足が痺れて立つことが出来なかつたことを思い出したりする。すべては過去であり、生意盛りの行き過ぎ小僧であつたが、それが年を重ねて八十四歳にもなり、こんどは生き過ぎのようである。

人がすみ行く谷越えて白こえて
梅 辰
一九七四年元旦

松 風 梅 津 喜 平

聖南西サンミゲルアルカンジョ市ビニール植民地

故郷の皆様、明ましてお芽出度うございす。週報社の社もお辱蘇で一柝やうれ、御紙嫌良く年頭の談話を発表されたことと思ひます。何か書く様にと依頼されて居りましたが、無い頭をしぼつても出て来ないのを致し方なく、此の地通信を申上げましてご勘弁願ひ上げます。招かれて此の地に来まして数カ月に到らんとしておりますが、未だ時々バストアの夢を見る次第です。当地の名にありませう。ゆらぐ松風に想いを寄せて彼の地に届く様にと書いておきます。謡曲に出て来る高砂の松でなくとも、アベニータと云つてもシヨンの道ですが、松並樹ですけど、約十年を経まして立派な松並樹になつております。

それ以前に自然生のバラナ松、後程植えた日本松或はアメリカ松も程良く伸びて居ります。あちらでエスポジソンの時態々高い金を払つてムダンサの時につて来たのですが、うしろの方から一寸失敬して来てラツタにでも植えておけば良い等と良からぬ考えを持って居りますが、まあ、家にもあるんだからと欲張らないうことにはしてはいます。それ程当地が松の生育に向いてはいるんではようね。バストスにも西さんの様な大家も居られ、趣味と実益を兼ねた方も居られます。古来より日本では正月には松や竹を門毎にかざりますのを思い出されるのですが、日本から来て直ぐでしたらかざつたかも知れませんが、私の様に部屋住みから始つた者は、そんな風流な事よりも休みが少いんだから御馳走食べて居る居つた方が良い習慣が身に沁る様になり、これも伯国に同化されたと思えば気が清む様になりまして、でも生け花の材料に用いたらエシカントになりませう。今年はこの地の竹に花が咲き、珍らし

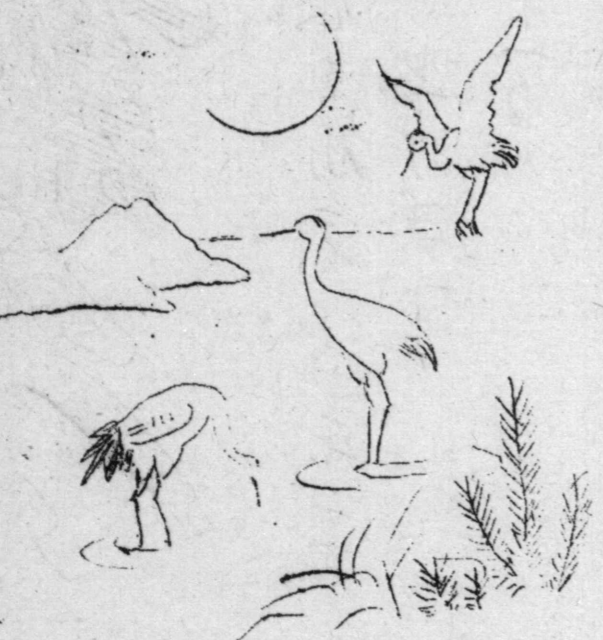
いと言つた古も居ります。竹もムロに植え居られる様です。当地より六ヒの軒離れたカッボン、ボニート管内に組合の植林部があります。約七五〇アルケールの地にアメリカ松、ユーカリ、台湾桐等が植林されてあります。昨年でしたか、カスカツタ区を視察される予定でしたが、市役所のオニブスの都合で止めになつた様です。

先日その主任さんから遊びに来いと招きを受けましたので、一度行って見たいと思つております。当移住地の近隣にスワノの製紙会社が土地を購入し、ユーカリを植林して居りますが八百アルケール程あります。

或るビイノジマンテの方が言われるに、伯国の紙の一日分の消費量は六〇アルケール分のユーカリ林の原木に匹敵すると申していましたが、現在世界的に石油と申しては居り、紙飢饉と叫ばれております。家のすぐ後方にマツトがあり、再生林ですが、うっそうとして居ります。ババス椰子や竹共の他の樹が相繁つております。バルミツタをとつて来て食卓に出さうと思えば出来るのですが、横井庄一さん程応用性が無いので、いただいた筈の子を間に合せております。ワラビは何回か採つていただきました。

Photo Miyazaki

各位貴堂の御発展を祈り
尚將來の祈りを希望します
一九七四年一月一日



アテマルテハロス街一七四番
電話 六八番

Banco America do Sul S/A

南米銀行

皆様の益々の御発展を祈念し、本行にて
信旧の御愛顧を願ひ申し上げます

一九七四年 一月一日

株式会社

 南米銀行

パストラス支店

フレンテンテ ウアルカス街三二五三番

銀行 電話 二二三番

フレンテ 三三三番

コンドリア 二二三番

南米投資銀行

取扱・クレアスール証券 及び自動車長期融資

南米信託株式会社

CASA KOMODA



國産米の精進

各位尊望代り敬ぶ米を祈り

併て将京乃沖産米を配ります



ツッキニテカンヤス街 四五六番

小茂田呉服店

電話 一三二番

男性的な山姥も手前の方を少しロツサ
致しまして大古よりの火の魅力を覚えて
居ります。此の地は戦后入植した十年の
地で、大先輩のバストスに及びませんが
、何かと辛業団の息がかかっ居ります
けと其の規模は小さく、戦前のブラ拓の
比ではありません。在任日系人五、二
家族で、隣りの東山部落は二十二、三
族居ります。

此の地の産物はウーバイタリが主作
で、一月未満から五月頃迄五万箱から七
万箱位出るだろうと言われて居ります
。その他ポンカン・モロコツテ・モラン
ゴ・ホスヘラ・マラクジヤ第が居り
、野菜が多種類に居り、豊富に出荷
されて居ります。土質はテトラ・マツ
ベですが、粗土質を含み、酸性なので生
灰やカルカリヨを多く使います。

此の道は昔バタタの古戦であり、小
夢も良く土承るとか、サンミゲールの市
役所に建っているモヌメントは小夢の突
駈に力を入れた人とか言われて居ります
。又蚕蚕や、ていゝ家もあり、隣部落に
バラ(蕨蕎)専門にやっ居られる方が
あります。ヒニールで囲い実ニキレイで
した。何種類か苗を領けていたたきまし
た。どの家はベルワニ台で週二回サンバ
ウロとソロカバ市へ土荷して居られます
。気候は大変涼しく、タビライ・ピエダ

テあたり海の海岸山脈に突き当った低気
圧がガロア(霧雨)や雨と付ね返つてく
るのでしようか、週に一度は雨が降りま
す。昔カソボスに次いで此の地方にサナ
トリュームの候補地に上った事があるそ
うです。アチバイアあたりの気候に近い
でしょう。

当地の人で、サンパウロは公害で、其
地は暑いし、此地は気候が良く、暑くて
寝られないと言ふ事がないから子供が良
く出まると、視察に行つた時言われて
ギョツとしました。

最初の十年は創世紀で、基礎造りの次
に第二期の人造りの時代と申しませう
か。当地に入植した日本生れの小供達は
ケルツボから教わり、現在大学に行つて
いる者もあり、まだセーラ服や詰エリの
小学生服でケルツボに通つて来る者も居り
ます。

此の地で十年間教鞭をとられたのは、
元カスカツタ区(山添さん)の娘さんで、
ソルテラ時代から自炊生活をして、電
気もたいどを頑張った姿には頭が下りま
す。

家内も日本語と情操教育を主体とした
(ED)の為に話がありまして、それを
主体にやっ居ります。
中学、高校は街の学校に行きます。

HOTEL PRIMAVERA

各店に於ては、各々、その繁栄を祈り、作て、将三、
引立と、ひとえに、ぬが、と、すす
一九七四年三月一日

プリマヴェーラ

御旅飯 食堂

新川



フレシテンテ ウアルガス街 電話九二番

市役所差廻しのオニブスで(約二十分)
朝行つて午後帰りです。家の娘は音楽教
室にイタペチニンガに行き、帰りは町から
タクシーで帰つて来ます。(週一回です)
此の週四日クラブの一日講習がありま
したので、私も時間を割いて、少し歌い
て見ました。若い人達の仲間に入られ
て、フォクダンス等を致しましたので
翌日一寸酔が痛かったです。

日本人は自治会と称し、土木部道あり
、村政を司らつて居ります。婦人会は現
役が多く、それに青年会もそれぞれ活
躍して居ります。

サンパウロからシネマ屋さんを呼んで
来て、二月に一回位の割合で映して居
ります。二、三年前より電化されました。
上下水道、テレビや水場などの他家電
気設備が入りつつあり、自動車の数も
増えると共に、住宅も本建築に次第に代
つて行く様です。

今後環境も整備されると共に、道路も
良くなり、サンパウロより二時間の距
離となり、組合の車も午前配し、午
、出荷物を集め、アルモソ過ぎに、
アーザに出かけ、早い時は帰り荷を積ん
で、夜九時頃帰つて来ます。以上此の地
まりの現況報告致し、初めて迎える此の
地の正月を祝ひ、気分が良くなつた。更
並樹の松風便りとして諸君の御発展を

お目出度つおきの信太さん

昨年十月三日目の訪日をされた信太兵
治、天妻、ひんげん達者で十二月十日帰
伯、故郷は北海道の遠軽町、バストス
姉妹都市とて大もてだ、た由、それにも
まして、めでたいのは兵治さんが其の字
(ヒナセオ)おくさんが古神(コキ、古
来まれでヒナセオ、おまけに金婚式と重
た、ますめ、たに見られぬおめでた
あ二人のマイヤモンド式をも無事なわ
ことをお祈りする

悲鳴

王子の値の上るのも、蘭が高くなるのも
一向さしつかえないが、印刷紙の高くな
ったのは、全くのお手上げである。ほとん
ど百パーセント、つまり倍額だ。おまけに
紙質が悪く、いやなりおやめなさいと、
来た。週報しいよいよヤリブウく方り
三十五コンド(年額)では元のおくあり
倒産一歩手前である

謹賀新年

一九七四年 元月一日

扱て、去る十六日、仏教婦人会總會で、今度次の方が役員に当選下さいました。どうぞ宜しくお頼み申上げます。 敬 具

キ

会長

岩橋すみ子

副会長

鶴 はる

会 計

森 下 正 枝

第二会計

小橋やす子

理 事

早川 花子

〃

中村ふさ江

〃

磯谷つきの

顔 問

小林 小久

〃

以上

バストス南米本願寺

御案内

修正

いり

一月一日、午前八時から、初法要が勤まります。

御誘い合つて、お詣り下さい

バストス南米本願寺

皆々様

この夫婦は、この日、互に交換すべき老人情報を出し、山のように眠っていきながら、そのままおぼろげに眠ったのだ。昭子は、胸苦しさを感じて眼をこました。驚いたことに茂造が、掛布団の上から昭子の鼻の上に乗って、呻いて起きている。昭子は吐き出し、鼻を突き飛ばして起きた。

「何んですか、お爺ちゃん」

「ああ、昭子さんが、いない、昭子さんがいない。昭子さんがいないんですよ。」

茂造は犬のように這いまわって、昭子の布団の抑えたり、端をめぐったりして

いる。昭子がそっと後退りをして息をい

りと、敷布団の下をそっと覗いたり、まるでゴキブリが這い込んだのを探している

ようだった。二段式の蛍光灯をばちんと一杯明るくして

「お爺ちゃん」

大声で呼ぶと、やっと茂造は昭子に気が

がついて、その途端に全身の関節が外れ

れたように、放り出された糸のきれた人

形のように、布団の上に乗ると伸びて

しまった。

「お爺ちゃん、私はずっとそこにいたん

ですよ。」

「はいはい。」

「用事はなんですか。」

「はい、はい。」

「おし、おし。」

「またオンツコが出るんですか。」

「はい、はい。」

「じゃ、眠ったらどうなんですか。」

昭子の声はとがって、乱暴に茂造

の鼻を、彼の夜具の中にひきずりこむと

老人はされるままに、寝たきり動

かない。昭子は溜息が出た。日中は門谷

家の主婦の言葉に義憤を感じたりしたけ

れど、今は、これからいつまでこんな春

しが続くのかと絶望で一杯だった。茂造

が死んでくれたらどんなに楽だろう。そ

んなお爺ちゃんに、異感も後ろめたさも、もう

なかった。夫の言葉さえ思い出すと腹立ちにな

る。本当にすまないと思つたら、信利は

昭子と交すべきではないか、嫌なこと

はみんな妻に押しつけろ。これが家庭に

おぼろげな実体の昭子は、煮えくり返

える胸を押しつけられ、門谷家のお婆ちや

んの謂う「壊れた男」を眺めていた。昭

茂造は、間もなく寝息を立てていた。昭

子に「昭子さん、昭子さん」と、茂造は、電燈はもう明るいままにして眠るこ

ことにした。枕を耳を当て、鼻を伸ばし

てみると、夜の夜中に男がこの鼻の上

BASTOS NAMBEI HOGANJI TEMPLO BASTOS

Caixa Postal 130 Fone 247
BASTOS C.P.



バストヌ南米本願寺

謹賀新年

新年おめでとう。亦どうぞ
おめでとう。おたのミします
一九七四年 一月九日

主管 小林志願
仏教会門信徒一同
仏教婦人会一同
日曜学校一同



の悲鳴が遠くで聞こえた。起くみたが姿
が思えない。
「お爺ちゃん、どこです」
「ここです。ここです」
部屋の中は明りいから、声をたよりに
探してみると、玄關の横の下駄箱の片隅
に茂造は躰を踏みこめて縮んでいる。
「どうしたんです、お爺ちゃん」
「昭子さん、警察を呼んで下さい、暴漢
です、暴漢が家に入りました」
「夢でも見たんでしよう、お爺ちゃん。
この家は戸締りがきちんとしてあります
から泥棒なんか入りませんよ」
「と言いながら、ふと二階の縁が信利が
階下の手洗いに用を足しに来たのを見た
のだろうか」と気がついた。
「お爺ちゃん、その暴漢といつのは何処
から入ったんですか」
茂造が指した方向は、台所の窓であっ
た。昭子は茂造にその窓には鍵がかかっ
ていて開かないことを説明した。しかし
茂造は怖がって震るえているので、手を
曳いて部屋に連れ戻し、
「それで、暴漢はどっちの方へ行ったん
ですか」
二階を指すかと思つたのに、また違っ
て押入れを怖々指したから、昭子は押入
の戸をがらりと開けて、中を見せた。つ
いでに手洗いの戸も開けて見せ、

「はら、どこにも暴漢はいませんよ。お
。さあ寝ましょう。安心して大丈夫です
よ」言葉とは違い、うらはらに昭子は
またしても茂造の躰を乱暴に扱つて彼の
床に押こんでしまつた。電気を消すと
、外は雪のせいも早く白んでくる。これ
から大変なことになつてくる予感があっ
た。だんだん腹れ方がひどくなつて来る
ような気がする。
○ 十一
翌朝ふらふらで、丈夫で長もちが取柄
だと自慢していた昭子も起きられなかつ
た。雪は降りやんでいて、大雪が一夜で
東京を銀世界に埋めていたが、家の中か
ら眺められる世界は小さすぎて、雪の白
さが非情で冷めたい。もともと狭い地所
の、庭だつたところに離れを建てたのだ
から、今は庭と呼ぶところも要するに隣
家との境界に建てたブロック塀と家との
間の小さな隙間しかない。夜中に茂造
が黒く穴を穿つたところも白く塗り直さ
れ、凹んでもいなくなつた。(つづく)
著者 有吉佐和子
(来る二月二十二日、二十三日、
シネバストに於て、「恍惚の人」上映)

恍惚の人(つづき)

信利は時間一杯寝ていたので、見送し
 い昭子の寝不足顔と茂造が見送られた
 話も、昨夜は三回も起きたというこも
 孫に目にも耳にも入らないらしく、飛
 び出し、しまった、敏もあわただしく学
 校へ行き、昭子は授業が終わったらすぐ帰
 るように彼の背に哀願したが聞か入れて
 くれるか、どうか

「昭子さん、起きて下さいよ、腹が空き
 ました、何か食べさせて下さいし
 泣かれたら困から食パン一斤と、牛乳
 一本当がって、昭子はもう後は野となれ
 山となれの心境で二階に上り、夫の布団
 に倒れ込むようにして眠り着けた。

眼をさましたときには窓からの日ざし
 が強く、頭の中が冴えざえとしていた
 無断で欠勤したことがすく心に浮んだの
 で、まず事務所に電話をかけたようと階級
 を降りると、茂造の姿がない、布団は二
 組敷き、放しにたかっている、昭子はこ
 ういうだらしのない眺めは我慢がならず、
 すぐ自分の掛布団だけは畳んだが、今は
 茂造を探るのが先だ、庭の戸が開いてい
 るから、そちらを覗くと、雪の上の足跡
 が離れへへ向って続いていて、朝、離れ

の雨戸を開けずに眠ったのを思い出し、
 茂造が用を足すために離れへ行っても、
 中へ入れたかどうか、と気がかりになっ
 た。それに今日はまだ着替えをさせてい
 ない、あの寝巻一枚で雪の中を歩いて、
 一人で離れに入らずにいる場合を考える
 と、昭子は眼の前がまっ暗になるようだ
 った。サンダルが雪に埋れて探すのもも
 とかしく、昭子は素足で飛び降りた。

離れの端の雨戸が一枚、部屋の中へ倒
 れている、茂造が死にもり狂いで体当り
 してしまったのだろうか

「お爺ちゃん」
 家の中は薄暗く、人気がなかった。
 「お爺ちゃん、どこですか」
 大声をあげながら便所の扉を聞いてみ
 ると、茂造が男子用の便器の前で膝を抱
 いて坐っていた。

「お爺ちゃん」
 「ああ、昭子さん」
 「お爺ちゃん、まあ、あなたいつからそ
 こにいたんですか。寒いでしょう。こっ
 ちへお帰りなさいよ」

「はいはい」
 寝巻の裾から細い素足が見える、帰り
 の履物が打いので、昭子は茂造を背負、
 て、やはり素足で母屋に戻った。雪は冷
 たいのを通り越して、膝が痛かった。昭
 子は後悔で胸が詰り、それどころではな
 かった。湯を沸かし、にんにく入りのス
 ープの素をのませた。

以上 次号へ

老人クラブだより

一月三日、伯光園シネマ、シヨトへ、
 七十歳以上の老人を招待して下さったの
 で、老人倶楽部から金一封を差上げるこ
 とになった由。
 但し、自身で「花」を上げたい人はご
 自由である。

葡語老人学校

来る一月十三日(日) 夜七時半から
 始まりませす。

新入学生を歓迎致します
 先生の都合で、毎日曜日に授業。
 場所は従前の通りです。

老人学校世話人

謹賀新年

本年も皆様から御礼を申し上げます
 一九七〇年一月一日

COMRCIAL MORISHIGUE

Em frente a Estação Rodoviaria de Bastos
 Fone; 92 e 314 - Cx. Postal, 14 - Bastos - C. P.

- マリアナ在任 外交員 森 重 義 明
- 消火器販売 在聖市 森 重 広 司
- 法字工
- バサール 電話九七 住宅三七四
- 経済学士 森 重 春 夫
- 主任 会計士
- メカニコ 森 重 信 正
- 会計士 森 重 ローザめぐみ
- 他 店 員 一 同
- 法律 事務所 電話二〇〇 住宅三〇七
- 産業 森 重 五 男
- 弁護士 森 重 タエル和美
- 市会議員 森 重 パウロ栄治
- 弁護士 森 重 清(羊鈴)
- 会計士 森 重 扶 美
- 会計士
- 他 森 重 清(羊鈴)
- 父 森 重 清(羊鈴)
- 山口県出身 森 重 清(羊鈴)
- バストス郵函 十四
- パウリス夕新聞代理店
- モジール旅行社代理店

コーラスを聴く

去る十月二十三日夜、バストス合唱団の第一回発表会の招待を受けたので、小雨の中を総合会館へ出かけた。

1. 出演は子供の組(十才位から、十五才位)と思われ、少女、中には数名の男の子も混じっている。総勢五十名程度。

2. ママイのコーラス。年齢四十才くらいの主婦たち、十五、六名

3. バストス合唱団へ娘さん十五人ばかり、男性二名あり

4. 婦人会のコーラス。五十才から六十才というおばあさん組である。

3. のバストス合唱団は、小野寺先生について最初から教を受け、キビンイ、レックスを重ねて三、四年にもなるだろうから、声量もあり、円熟度も高く、サンパウロの各合唱団の中へ押し出しても、けは取らぬと思われ、合唱ぶりである。採点をする、九十五点位の処か、荒滅の月、は素晴らしい出来であった。

1. の子供の合唱は、二回に十六曲もこなしているが、少し多すぎる感じであった。曲が短いから、山盛り上げたのである。もう少しという想で引上げるのがコツである。でも子供の合唱として中々いいものも三、四曲あった。虫の声、かえろの合唱など、あなどりがたい出来栄であった。採点すると九十点どころか、

2. ママイコーラスは、バストス合唱団についてうまかった。花の街、浜の歌、共に出色の出来である。短期間の練習であれだけ、はせるとは、なかなかのものだ。

4. のばばさま組となると、これも中々のものである。これが女性であるから、すなおに初歩から教えられて、あれだけものにしたらのだが、これがいいさんだ。たう、とてもサノサ節やら、安采節の熱演になってしまおう。爺でなく、よかた。

「しあわせなら、手を叩こう」などは、舞台と客席とイキがあつて、フンイキがホントによかった。採点はしなくてもよからうが、折角だから、ママイもババも九十三点献上する。奥地で合唱団をもっているのは、恐らくバストスだけだろう。年に一、二回は発表会を催したら良いと思ふ。今度やるときは、メーザを中程において、封筒を用意して「キフ」をした人からは好意を受けるとよい。催し事には、釜もかかることだし、先生にお礼もいるだろう。

糸 立白

FOTO COMETA

ドッキ、テカシマス街



本年度もお参り下さり引立てを
ねがいあけます
一九七四年 九月一日



電話 六十三二一五

Organização Rio Branco s/c Advocacia Contabilidade e Despachos

皆様の御依頼を承ります
当所は、御依頼を承ります
一月、二ヶ月

仕用人を雇うとき、契約書を確定
しておくこと。
後日問題が起きないようにするには、
契約書が大切です。

労働法 民事 刑事法
会計事務 一切

農家でも帳簿を合法的に
一切は当事務所へ御相談下さい
プレジデント バルカス街 一八九

Dr. 石川雅宏
Dr. 小林平行

邦画 一〇三番
電話 一〇五番
一八〇番

死亡通知並に会葬御礼

夫、中崎吉太郎（七八歳）儀長らく病氣静中の処、症状急変致し、去る十二月二十四日酉時アダマンチーナ自宅に於て長逝いたしました。家族の希望により翌二十五日午後四時、バストス墓地へ埋葬いたしました。此様生前辱知各位に御知らせ申上ます。

追って送葬の際遠路わざわざ御会葬下され、且つ御丁寧なる御香料並に花輪など賜与賜わり、ありがとうございました。御礼申上げます。

一々廻礼いたすべき処、勝手乍ら紙上を以て御礼の辞申上げます。

一九七三年 十二月二十六日

- アダマンチーナ市
- 妻 中崎ゆみ
- 長男 中崎薩雄
- 妻 〃しづ子
- 孫 一 同

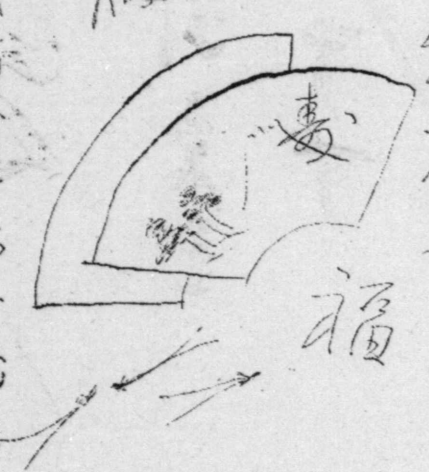
- フラ拓製糸株式会社様
- アダマンチーナ生長の家読書白鷺様
- アダマンチーナ南米本願寺様
- アダマンチーナ本派本願寺様
- アダマンチーナ連合婦人会様
- PLバストス教団様
- アダマンチーナ会葬者各位様
- バストス知友各位様

SAPATARIA BASTOS

平川靴店

プレテンテバルガス 二六、二七番

電話 〇五五番



一年のぼしの御返しは、めでたく申し納の満ち、各店貴堂の御祭を祈り併せて将王、御厚御禮を、懇願いたします。

一九七四年元月一日



「SM型」

「先生とでさあ、う女の子で、案外マシメな子が多いんじゃない？」

「SL型でしよう。研究室打んかで、学問が恋愛に発展しちゃう訳ねえ」

「私も気をつけなくちゃ」

「あんたは大丈夫。学問からマンガにのりたSM型だから」

献立決定法

共稼ぎOLと独身社員。

「あなた、夕食はナニを食べたい？」

「うーん、カレーだね」

「ありがとう。今晚はカレーを作って、亭主と仲良く食べるわ」

「なんだ、おごつてくれるんじゃないの？」

「スズムシ老人」

「おれいさん、うちのスズムシ、声がよくないんじやありませんか？」

「そんなことないよ。おれの作ったナスを、毎日やってるんだから」

「ナスはノドに悪いって、いいますよ」

「バカノ、スズムシはノドで鳴くんじやないよ、羽で鳴くんじや」

CASA ESPERANÇA

Rua Ademar de Barros 223 Fone 351

藤原食物店
電話 居三五一番
住宅 一五一番

カーサ エス ペラン サ

アデマルデバロス街ニニ三五番

金物道具類 水道用具
電気用具 建築用具
陶磁器類一切 その他
家庭道具 刃物類 等



本年も倍旧の御引立てを
願ひあげます
一九七四年 一月一日

謹賀新年

TAKEO MCRIMOTO

Fone 29 Cx. Postal 171 BASTOS C.P

農務局公認番号二七六

ツクミテカシマス街 五二四番

森元苗木商

森元武雄
電話 二一九番

果樹、庭樹、花苗、園芸草本
グレブリーリマ防風日除用樹
アメリカカ松苗



本年も昨年同様の御引立てを
願ひあげます
一九七四年 元旦

謹賀新年

Bar Yaguiura Bastos

Rua Ademar de Barros, Fone 019 C.P.

恭賀新年

本年も倍旧の御引立てを

お願い申し上げます

一九七四年 元旦

アデマルデバロス街 総合会館向

パール柳浦

電話 一九九番